



平成29年11月27日

第3回日墨学長会議を開催します

平成29年11月30日から12月1日の2日間、日本とメキシコの大学の学長や副学長等が出席する「第3回日墨学長会議」を広島市で開催し、広島大学がメキシコ国際開発協力庁（AMEXCID）とともに開催校を務めます。

本会議は、「Collaboration for Innovation: Academy, Industry and Government working together」（産学官連携によるイノベーションに向けた協働）をテーマに、産学官連携や研究連携、学生交流等について議論するとともに、日墨両国の大学間の交流を深めることを目的にしています。日本側の30の大学と関係機関、メキシコ側の37の大学と関係機関と両国の関係機関から約150名が出席する予定です。

日墨学長会議は、平成23年に第1回会議を東京で、平成26年に第2回会議をメキシコのグアナファトとアグアスカリエンテスにて開催し、両国の密接な連携に繋がってきました。

メキシコには自動車関係の企業等、多くの日系企業が進出しており、産学官連携への関心が高まるなど、日本とメキシコの大学の交流拡大が期待されます。ぜひ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

【日時】 平成29年11月30日（木）9：30－17：45
12月 1日（金）9：30－12：35
※取材いただく場合は、事前に受付にお越しく下さい。

【会場】 リーガロイヤルホテル広島

【対象者】 日本及びメキシコの大学の学長等、両国の高等教育機関の関係者等

【後援】 文部科学省、外務省、在日メキシコ大使館

【使用言語】 日本語・スペイン語（同時通訳）※発表資料、配布資料は英語

【プログラム概要】 ※開催時間は別紙をご覧ください。

11月30日（木）

■開会挨拶

広島大学長、メキシコ国際開発協力庁（AMEXCID）長官

広島県知事、駐日メキシコ大使、文部科学省、
メキシコ公共教育省高等教育担当副大臣、外務省

■ 基調講演 1

金井誠太 マツダ株式会社代表取締役会長、
在広島メキシコ合衆国領事

エンリケ・ルイス・グラウエ メキシコ国立自治大学(UNAM) 学長

■ セッション 1 ” Triple Helix Collaboration ”

■ セッション 2 ” Collaboration in Research ”

■ セッション 3 ” Student Exchange as a basis of the Collaboration ”

12月 1日(金)

■ 基調講演 2

柳沼孝一郎 神田外語大学副学長

サルバドル・ハラ メキシコ公共教育省高等教育担当副大臣

■ セッション 4 “Future-Oriented for Japan・Mexico Universities
Collaboration”

■ 共同声明

■ 閉会挨拶

なお、本学長会議開催に先立ち11月28日(火)に、メキシコ出席者の代表である、ガルシア-ロペス AMEXCID 大使とアルマダ駐日メキシコ大使が本学を表敬訪問します。その際に、本年9月に発生しましたメキシコ地震に対する本学構成員からの義援金についても報告する予定です。

【日 時】 平成29年11月28日(火) 17:00-17:30

【会 場】 広島大学霞キャンパス研究棟B 歯学部大会議室

※取材いただく場合は、16:45に研究棟B玄関にお越しください。担当者が会場までご案内します。

また、メキシコからの出席者は、11月29日(水)に広島平和記念資料館、広島大学(東広島キャンパス)及びマツダミュージアムを視察します。平和記念公園では、以下の日時に献花を行います。

【日 時】 平成29年11月29日(水) 11:00-11:15頃

【会 場】 平和記念公園 慰霊碑前

※取材いただく場合は、10:45に平和記念公園 慰霊碑前にお集まりください。

【お問い合わせ先】

国際室国際部 国際交流グループ 是國 TEL:082-424-6045 FAX:082-424-6179
--

日墨学長会議 詳細スケジュール

日時		予定
11/28(火)	17:00-17:30	学長表敬訪問(霞キャンパス研究棟B 歯学部大会議室)
11/29(水)	9:15-10:00	平和記念公園視察
	10:00-11:00	平和記念資料館見学
	11:00-11:15	平和記念公園にて、献花
第3回日墨学長会議(1日目)リーガロイヤルホテル広島		
11/30(木)	9:30-10:00	開会挨拶(主催挨拶, 来賓挨拶) 広島大学長、メキシコ国際開発協力庁(AMEXCID)長官 広島県知事、駐日メキシコ大使、文部科学省、 メキシコ公共教育省高等教育担当副大臣、外務省
	10:00-11:00	基調講演1 金井誠太 マツダ株式会社代表取締役会長、 在広島メキシコ合衆国領事 エンリケ・ルイス・グラウエ メキシコ国立自治大学(UNAM)学長
	11:30-13:00	セッション1 “Triple Helix Collaboration”
	14:20-15:50	セッション2 “Collaboration in Research”
	16:10-17:40	セッション3 “Student Exchange as a basis of the Collaboration”
	17:40-17:45	1日目閉会挨拶
	第3回日墨学長会議(2日目)リーガロイヤルホテル広島	
12/1(金)	9:30-9:35	2日目挨拶
	9:35-10:35	基調講演2 柳沼孝一郎 神田外語大学副学長 サルバドール・ハラ メキシコ公共教育省高等教育担当副大臣
	10:35-12:05	セッション4 “Future-Oriented Collaboration”
	12:20-12:25	共同声明
	12:25-12:35	総括



平成29年11月27日

カリフォルニア大学バークレー校と大学間交流協定を締結しました

11月17日、広島大学越智光夫学長、神谷研二副学長、渡邊聡副学長は米国カリフォルニア大学バークレー校を訪問し、大学間協定の締結を行いました。

同校は1868年に創立され、カリフォルニア大学の中で最も古い歴史を持ち、多くの卒業生や教員がノーベル賞受賞をはじめ数々の業績を上げている研究大学です。

本学の博士課程教育リーディングプログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」の教員・大学院生は、福島原子力発電所事故からの復興に貢献するためこれまで同校と情報交換や研究交流を行ってきましたが、今後はさらに幅広い分野での交流や協働が期待されます。



キャロル・クリスト学長と越智学長

【お問い合わせ先】

教育室コラボレーションオフィス
フェニックスリーダー育成プログラム事務室
TEL:082-424-4639 FAX:082-424-6821

平成29年11月27日

「広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金」 学内募金を開始しました

広島大学は、2024年に創設75周年を迎えます。それを機に、本学が躍動できる環境を構築し、地域や実業界との協働を強化して、世界に冠たる広島大学の発展を実現させるため、新たな基金として「広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金」を立ち上げました。

本基金は、教育・研究・社会貢献に関する活動の一層の充実に資するとともに、教育研究環境を整備・充実にさせ、優れた知識人の輩出及び優れた研究成果等の創出に資することを目的として行ってきた「広島大学基金」をさらに充実・発展させるものです。

本基金の開始にあたり、スタートアップの募金を教職員の手で行う、学内での寄附募集を開始しました。



東千田キャンパスを 中心とした

- 産官学民連携活動拠点による新産業創出とまちおこし
- 平和創生教育研究文化活動拠点の構築
- 国際交易イノベーション拠点の構築



霞キャンパスを 中心とした

- 医工産官学連携卓越医療拠点の構築
- 国際医療イノベーション拠点の構築



東広島キャンパスを 中心とした

- 世界展開を視野に入れた、産官学民連携地域イノベーション拠点の構築
- 世界に冠たる卓越した国際教育研究拠点の構築

【お問い合わせ先】

広島大学基金事務局
TEL:082-424-6132
E-mail:kikin@office.hiroshima-u.ac.jp



平成29年11月27日

第39回海洋教育フォーラム やさしい海洋講座
「いま瀬戸内海的环境はどうなっているの？」
をJMSアステールプラザで開催します

広島大学 大学院工学研究科 輸送環境システム専攻と日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会は共催で「海洋教育フォーラム」を開きます。このフォーラムは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。

今回の広島開催のフォーラムでは、「いま瀬戸内海的环境はどうなっているの？」と題して、地元の専門家に詳しく語っていただきます。近年「瀬戸内海の魚や貝がとれなくなった」という声も耳にしますが、「現実的环境はどうなのか?」、「海の幸を守れるか」などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

記

【日時】 平成29年12月2日(土) 13:00~16:10

【場所】 JMSアステールプラザ 7F 研修室
(広島市中区加古町4番17号)

【定員】 80名(入場無料)

【内容】 以下の講師による講演

瀬戸内海区水産研究所 堀正和 主任研究員

「瀬戸内海の藻場とブルーカーボンについて」

広島大学大学院生物圏科学研究科 加藤亜記 准教授

「瀬戸内海の二ホンアワサンゴ群生地の海藻」

復建調査設計 山本裕規 上席主任エンジニア

「瀬戸内海の家ごみについて」

広島大学環境安全センター 西嶋渉 教授

「瀬戸内海的环境管理について」

【申込み】

Web, E-mail, FAX 等にて申込み(当日受付も可)

Web: <https://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

【お問い合わせ先】

広島大学大学院工学研究科 輸送環境システム専攻 事務室

Tel: 082-424-7774 FAX: 082-422-7194

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp



いま瀬戸内海の環境は どうなっているの？



「海洋教育フォーラム」とは一般の方へ海洋への関心を持っていただくために、日本各地で毎年行われているイベントです。今回の広島開催のフォーラムでは、「いま瀬戸内海の環境はどうなっているの？」と題して、専門家の先生に詳しく語っていただきます。近年「瀬戸内海の魚や貝がとれなくなった」という声も耳にしますが、「現実の環境はどうか?」、「海の幸を守れるか」などについて、みなさんと考えてみたいと思います。

日時：2017年12月2日（土）13：00～16：10
受付12：30開始

場所：JMSアステールプラザ 7F 研修室
(〒730-0812 広島市中区加古町4番17号)
<http://www.hymca.jp/hall/access/>
バス停：加古町下車徒歩5分



昨年(2016年)の様子 スタッフと講演者(昨年)

対象：一般（定員80名）

参加費：無料（参加者には講演要旨集を配布）

講演内容：

- 13：00～13：15 開会挨拶「海をもっとみんなで知ろう」
(小林正典, 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会委員長)
- 13：15～13：55 瀬戸内海の藻場とブルーカーボンについて
(堀正和, 瀬戸内海区水産研究所 主任研究員)
- 13：55～14：35 瀬戸内海の二ホンアワサンゴ群生地の海藻
(加藤亜記, 広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授)
- 14：35～14：45 休憩
- 14：45～15：25 瀬戸内海のおごみについて
(山本裕規, 復建調査設計 上席主任エンジニア)
- 15：25～16：05 瀬戸内海的环境管理について
(西嶋渉, 広島大学環境安全センター 教授)
- 16：05～16：10 閉会挨拶
(作野裕司, 広島大学 准教授, 第39回海洋教育フォーラム実行委員会委員長)

参加申し込み（要事前予約）：

下記のURLサイト（右下QRコード有）、FAX、E-mailなどにてお申込みください。FAX、メールの場合、見出しに、「海洋教育フォーラム申込」と明記し、①氏名、②所属、③電話番号、④メールアドレスをご記入の上、以下のFAXまたはE-mailアドレスにお送りください。締切は11/26(日)です。

URL: <https://www.jasnaoe.or.jp/mecc/event.html>

FAX: 082-422-7194

E-mail: ocean@naoe.hiroshima-u.ac.jp

共催：日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会、
広島大学大学院工学研究科輸送環境システム専攻

後援：広島市教育委員会、教育新聞社





平成29年11月27日

第1回燃料・燃焼・エネルギーシンポジウム

「未来のエンジンを知る～燃焼技術の最先端」を開催します

広島大学エネルギー超高度利用研究拠点は、12月12日に、第1回燃料・燃焼・エネルギーシンポジウム「未来のエンジンを知る～燃焼技術の最先端」を開催します

イギリス、フランス、中国で電気自動車への転換が政策決定されました。地球温暖化の観点でも、ガソリンや軽油の利用を抑制することが求められています。ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンは使われなくなってしまうのでしょうか。一方、特に発展途上国では高価な電気自動車の導入普及は困難です。エンジン技術の進展ハイブリッドやアイドリングストップなど、燃費を大きく上げることができるエンジン技術の開発も進んでいます。

シンポジウムでは、エンジン技術の最先端を確認し、エンジンの未来を議論します。

ぜひ、ご参加ください。

記

【日時】2017年12月12日（火）10:30～

【場所】全国家電会館 5F講堂

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目6番地1号

TEL: 03-3832-4291 FAX: 03-3832-4293

東京メトロ銀座線末広町駅徒歩約5分

<http://www.jeass.or.jp/map.html>

【参加費】

一般	事前	8000円	当日	9000円
協賛団体会員	事前	6000円	当日	7000円
意見交換会		4000円		

【申込方法】

ウェブページからお申込みください。

<http://i-aeu.sakura.ne.jp/hu-ace171212/>

【プログラム】

司会：松村 幸彦（広島大学）

講演

10:30~10:40 主催者挨拶

西田 恵哉 (広島大学)

10:40~11:20 自動車用エンジン技術に関する将来展望

大聖 泰弘 (早稲田大学)

11:20~12:00 Fugine:「多重パルス噴流の中央一点衝突圧縮燃焼原理」に基づく大幅断熱・排熱低減効果と価格・エミッション・燃焼騒音要求を満たす発電・自動車・航空宇宙用エンジンの研究開発

内藤 健 (早稲田大学)

13:00~13:40 水素を利用した高効率エンジン燃焼:直接噴射層状燃焼と排熱回収式燃料改質 HCCI 燃焼

首藤 登志夫 (首都大学東京)

13:40~14:20 産学官で進めるエンジン開発—SIP「革新的燃焼技術」制御チームの活動状況報告

金子 成彦 (東京大学)

14:30~15:10 電気自動車のCO₂低減能力と天然ガスエンジン自動車の可能性

畑村 耕一 (広島大学)

15:10~16:30 ディスカッション

モデレータ:末次 元 (広島大学)

意見交換会

16:45~18:45

※参加費4000円

【主催】広島大学エネルギー超高度利用研究拠点 (広大 ACE)

【協賛 (予定)】

エネルギー・資源学会、化学工学会、自動車技術会、自動車工業会、水素エネルギー協会、石油学会、日本エネルギー学会、日本機械学会、日本伝熱学会、日本燃焼学会、日本流体力学会

【お問い合わせ先】

広島大学エネルギー超高度利用研究拠点
hu-ace-info@ml.hiroshima-u.ac.jp



平成29年11月27日

大学 ICT 推進協議会 2017 年度年次大会を開催します

広島大学は、一般社団法人 大学 ICT 推進協議会と共催で、大学 ICT 推進協議会 2017 年度年次大会を以下のとおり開催します。

- 日時：12月13日（水）～12月15日（金）
- 場所：広島国際会議場、ANA クラウンプラザホテル広島
- プログラム：<https://axies.jp/ja/conf/conf2017/program> を参照ください。
- 主催：一般社団法人 大学 ICT 推進協議会
- 共催：国立大学法人 広島大学
- 後援：文部科学省、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会

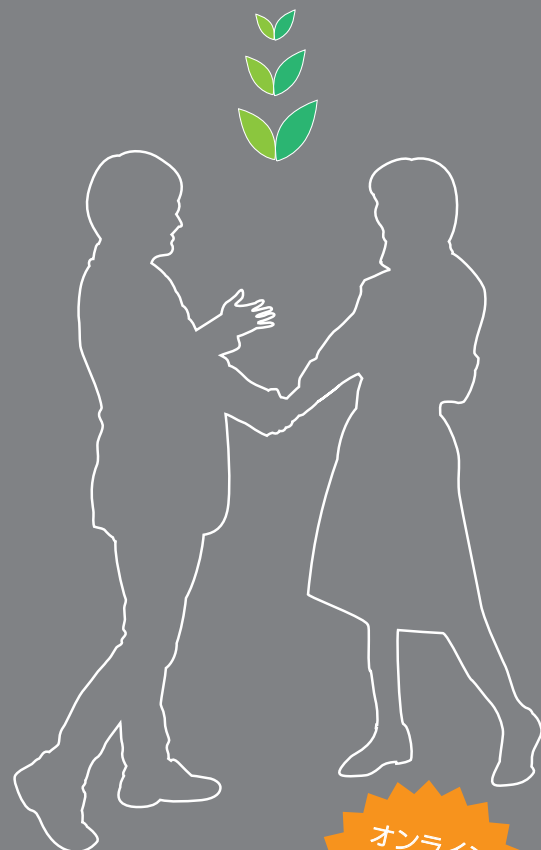
同会は、我が国の高等教育機関及び学術研究機関における情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、我が国の教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与するため、国内の高等教育・学術研究機関間で、各種専門的情報の提供及び交換を行います。

2011 年から始まり、第 7 回を迎える今年は、ブース数が過去最多となる企業展示に加え、2 件の基調講演を含む全体会、一般発表セッション及び企画セッション等を予定しています。オンラインによる事前申込みは 11 月 30 日（木）を締切としていますので、早々にご検討の上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

- 申込み方法：<https://axies.jp/ja/conf/conf2017/> を参照ください。

【お問い合わせ先】

大学 ICT 推進協議会 2017 年度年次大会事務局
広島大学財務・総務室情報部情報化推進グループ 担当：谷、三好
TEL:082-424-4489 FAX:082-424-6020
E-mail:conf2017-sec@axies.jp



大学でICT活用するってこと、ひろくやっつけてしまおうよ♪

大学ICT推進協議会 2017年度年次大会

2017年12月13日(水)～15日(金)

広島国際会議場(広島市 広島平和記念公園内)ほか

オンライン
事前申込
11/30まで!

AXIES2017 開催概要

■ 基調講演



「次世代電子学習環境の必要性と現状」(英語・同時通訳あり)
Jack Suess 氏

メリーランド大学ボルティモア郡校副学長・CIO/EDUCAUSE 理事



「クラウドファースト時代の大学情報セキュリティ」
上原 哲太郎 氏

立命館大学 情報理工学部 教授

■ 一般発表セッション (口頭発表 93 件 / ポスター発表 37 件)

ICTを活用した授業実践や、システム構築などについて一般公募した演題です。

■ 企画セッション (17 件)

AXIESの各部会が中心となり、90分間で1つのテーマに絞った講演などを行います。

■ 企業展示・セミナー (展示 64 件 / セミナー 22 件)

ICT関連企業の最新製品の展示、セミナーなどが開催されます。

主催：一般社団法人 大学ICT推進協議会

共催：国立大学法人 広島大学

後援：文部科学省、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会

協賛：日本マイクロソフト株式会社

株式会社日立製作所、アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

シスコシステムズ合同会社、リコージャパン株式会社

期間：2017年12月13日(水)～15日(金)

会場：広島国際会議場(受付、全体会、企業展示、各種セッションなど)

ANAクラウンプラザホテル広島(CIO部会、情報交換会)

問合せ：conf2017-sec@axies.jp

参加者募集中！どなたでも参加できます。

要参加費・11月30日まで Web サイトにて受付中。

	事前申込	当日申込
会員機関所属者参加費	7,000 円	9,000 円
一般参加費	11,000 円	13,000 円
情報交換会	4,500 円	5,000 円

AXIES2017 Web サイト

<https://axies.jp/ja/conf/conf2017/>



○基調講演 1

講師：Prof. Jack Suess (メリーランド大学ボルティモア郡校副学長・CIO / EDUCAUSE 理事)

演題：「次世代電子学習環境の必要性和現状」

概要：2015年、個別の学習支援を目指した次世代電子学習環境 (NGDLE) が EDUCAUSE の Brown 博士により提唱された。この NGDLE の進展状況、どうして NGDLE が大学にとって重要で、何を準備できるのか、EDUCAUSE 理事、メリーランド大学ボルティモア郡校副学長・CIO の Suess 教授に紹介いただく。

○基調講演 2

講師：上原 哲太郎 教授 (立命館大学情報理工学部)


演題：「クラウドファースト時代の大学情報セキュリティ」

概要：標的型攻撃がますます巧妙になる中、マイナンバーや成績など機微な個人情報を含む情報システムをインターネットから隔離して保護する傾向は強まっている。一方で業務システムへのクラウドの利用への要求も高く、情報システムをデザインする上でのジレンマは広がっている。この矛盾はどのように解決するべきか。サイバーセキュリティの分野で幅広く活動されている上原哲太郎教授に、大学の ICT システムが現在直面している課題をセキュリティと業務効率の両面から俯瞰していただく。



プログラム概要


開催日時	企画セッション	一般発表	展示等
12月13日 (水) 10:50~12:20	著作権法がまだ変わってない！LMSによる教材の公衆送信と補償金 (2) 認証システムの利用対象者拡張：在学生・在職教職員を越えて	[口頭] 教育実践、 HPCテクノロジー	
12月13日 (水) 13:30~15:00	キャンパスネットワークのSDN化の実例と課題 高等教育機関等におけるBYODの現状と提言 -H28年度調査の結果から-	[口頭] 大学でのクラウド利用、 一般情報教育、HPCテクノロジー、 セキュリティ教育と訓練	展示・ 出展者セミナー
12月14日 (木) 9:00~10:30	ラーニングアナリティクスの国内外の研究動向 大学の事務用業務システムの現状 クラウドソリューション&ライセンスワークショップ (1)	[口頭] 講義支援システム、 eラーニング、 HPCテクノロジー	展示・ 出展者セミナー
12月14日 (木) 10:50~12:20	クラウドソリューション&ライセンスワークショップ (2) 研究・教育資源アーカイブ環境の構築と運用	[口頭] 教育用情報環境、 ICT基盤と利用支援、 教育サポート	展示・ 出展者セミナー
12月15日 (金) 9:00~10:30	次世代電子学習環境 (NGDLE) と国際標準化：わが国における最新動向 情報倫理ビデオ教材の新版開発にむけて 産学協働による教育関連IT技術の活用事例報告2017	[ポスター] HPCテクノロジー、 教育基盤、セキュリティ	展示・ 出展者セミナー
12月15日 (金) 10:50~12:20	教育サービスの機能拡張のためのツール統合とプラグイン これからの公開教育・公開教育資源を考える 日本の研究データマネジメント - 方針策定と実現に向けて	[ポスター] ICT教育実践	展示・ 出展者セミナー
12月15日 (金) 13:30~15:00	EDUCAUSE Core Data Serviceで測る大学ICT環境の動向 高等教育機関における基盤ソフトウェアについて	[口頭] 認証システム、LMS、 研究・業務サポートシステム、 ネットワークとセキュリティ	展示・ 出展者セミナー



情報交換会 (12/14 18:30 から)



広島の地酒、お好み焼きなど、
おいしいものをたくさん用意しています。
広島大学のある、東広島市のゆるキャラ
「のん太」くんも登場！



問い合わせ先

一般社団法人 大学 ICT 推進協議会
2017年度年次大会事務局
(担当：広島大学)
e-mail : conf2017-sec@axies.jp



平成29年11月27日

「2017年ノーベル物理学賞解説セミナー」について

今年のノーベル物理学賞は、重力波検出器 LIGO によって世界初の「重力波」観測に成功したアメリカの研究者、レイナー・ワイス博士、バリー・バリッシュ博士、キップ・ソーン博士へ贈られることが決定しました。

これを受けて理学融合教育研究センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、ノーベル物理学賞解説セミナーを開催することといたしましたので、是非ご参加ください。

記

【日時】2017年12月16日（土）13:00～17:00

【場所】広島大学東千田未来創生センター M401講義室
（広島市中区東千田町1-1-89）

【内容】

1. 「重力波研究 100 年」
小嵐 康史 教授（広島大学大学院理学研究科）
2. 「早くも捉えられた重力波源天体」
川端 弘治 教授（広島大学宇宙科学センター）
3. 「中性子星合体 ～太陽系材料物質の「生成場所」という観点から～」
寺田 健太郎 教授（大阪大学大学院理学研究科）
4. 「クライオ電子顕微鏡法の進展と今後の発展と課題について
～今まで見えなかった細胞超微細構造のラビリンスを探検できたら面白い～」
岩根 敦子 教授（大阪大学生命機能研究科、理化学研究所、
広島大学大学院理学研究科）

【申込】事前申し込み不要（参加費無料）

【主催】広島大学理学融合教育研究センター

【お問い合わせ先】

理学研究科支援室（研究・国際支援担当）

中本 知範

TEL:082-424-7314

FAX:082-424-2464



平成29年11月27日

地（知）の拠点第4回円卓フォーラムの開催
及び地（知）の拠点連携地域功労者表彰について

広島大学における文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（大学 COC 事業）」が最終年を迎えるに当たり、COCの一分野であります中山間地域島しょ部領域では、「第4回円卓フォーラム」を開催し、学生、連携地域・市町・県、教職員等で活動の成果をまとめます。

また、活動にご尽力いただいた連携地域等の方々21名への感謝の意を込めて、生物生産学部長から功労者表彰を行います。

本フォーラムでは、地域と学生がつくる地域志向型教育についてご議論いただき、地（知）の拠点活動から本学独自のフィールド教育へと展開させることで、地域・市町の皆様と共にCOC活動の成果と課題を確認して参りたいと存じます。

皆様是非ご参加いただき、今後の地域志向教育などについてご助言賜りますようお願い致します。

《円卓フォーラム》

日時：12月7日（木）12:50～16:05

テーマ：

地域と学生がつくる地域志向型教育 ～農学系フィールド教育がめざすもの～

プログラム概要：

第1部 地域と農学フィールド教育

- ・教養ゼミの学生、地域志向インターンシップの学生の報告
- ・フィールド教育受入連携地域、連携市町担当課の報告
- ・教養ゼミフィールド教育担当教員、COC担当教員の報告

第2部 地方創生を支える人材育成プログラム

- ・連携市町、連携地域、学生、教職員による円卓フォーラム
- ・広島県地域政策局中山間地域振興課による講評

《功労者表彰》

表彰者 教養ゼミ体験学習・インターンシップ受入地域の代表者等21名
（表彰者は、別添資料のとおり）

《中山間地域島しょ部対策領域について》

中山間地域島しょ部対策領域では、地域体験学習、地域講師による特別講座、地域インターンシップ、フィールド特別演習等、多彩な活動を実施してきました。

そのお陰をもちまして地域志向科目の全学展開、地域志向教育効果を評価する学生アンケートなどを通じた授業の改善、連携自治体や地域の方の講義・フィールド実習による教育効果の向上、産業・観光面での地域連携の強化などが進み、学生の地域志向が予想以上に高まるなど、大学COC事業最終年を迎えるこの時期にも大きな成果を感じている次第です。

大学では、地域市町、学生、教職員が参加して議論する円卓フォーラムを毎年開催し、COCによる人材育成の仕組みを改善し、地域志向型人材育成プログラムの充実に努めてまいりました。

【お問い合わせ先】

生物圏科学研究科COC担当

教授 山尾政博 准教授 細野賢治 コーディネータ 大泉賢吾

TEL:082-424-7905 FAX:082-424-2037

地（知）の拠点教育研究功労者表彰者

市町名	所属名・職	表彰者 敬称略	表彰理由
東広島市	有限会社トムミルクファーム 代表取締役	沖 正文	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労 地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
東広島市	農事組合法人ファーム・おだ 組合長理事	吉弘 昌昭	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労 地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
東広島市	安芸津漁業協同組合 代表理事組合長	柴 孝利	教養ゼミフィールド体験学習における功労
東広島市	芸南農業協同組合 代表理事組合長	山田 政数	教養ゼミフィールド体験学習における功労
広島市	太田川漁業協同組合 代表理事組合長	森 正記	教養ゼミフィールド体験学習における功労 太田川の環境調査研究における功労
三次市	株式会社布野特産センター 代表取締役	廣田 幸男	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労 学生との共同研究開発（オリゼさんのアイ酒）における功労
三次市	大前農園	大前 憲三	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
三次市	江の川漁業協同組合 代表理事組合長	辻駒 健二	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
呉市	大亀農園	大亀 孝司	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
呉市	新果園	末岡 和之	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
尾道市	フルーツ夢工房 代表	半田 史子	地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
尾道市	おのべじ榎山農園 代表	卯元 幸江	地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
尾道市	株式会社島ごころ 代表取締役	奥本 隆三	地域活性化への取組等の特別講座講義における功労
安芸太田町	いにびちゅ会 会長	河野 司	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
安芸太田町	井仁自治会 会長	大江 眞	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
大崎上島町	金原農園	金原 邦也	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
大崎上島町	大崎上島町食文化海藻塾 塾長	道林 清隆	教養ゼミフィールド体験学習における功労
大崎上島町	フィッシング中村	中村 修司	教養ゼミフィールド体験学習における功労
世羅町	農事組合法人世羅幸水農園 組合長理事	原田 修	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
世羅町	農事組合法人世羅大豊農園 組合長理事	柘宜谷 全	教養ゼミフィールド体験学習における功労 地域受入インターンシップにおける功労
世羅町	世羅高原カメラ女子旅 主宰	吉宗 五十鈴	地域活性化への取組等の特別講座講義における功労